

2018 年度（平成 30 年度）

事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

日本繊維輸出組合

目 次

第一 2018年の繊維製品輸出動向	1
I. 総 論	1
II. 主要繊維製品の輸出状況	3
1. 綿 類.....	3
2. 糸 類.....	3
3. 織・編物類.....	4
4. 不織布.....	5
5. アパレル.....	5
6. その他製品.....	5
繊維輸出総括表（2018年1～12月）	6
第二 組合員の異動及び機構等	7
I. 組合員の異動.....	7
II. 機 構	7
III. 役 員	8
第三 事業の概要	10
第四 総会・理事会・監事会	12
I. 総 会	12
II. 理 事 会	12
III. 監 事 会	13
第五 企画委員会及び商品・市場・制度別委員会等	14
I. 企画委員会	14
II. 原料資材委員会.....	15
III. 漁網・漁網糸委員会	15
IV. 織・編物委員会.....	15
V. アパレル委員会（東京・大阪合同）、技能実習及び取引適正化推進分科会	15
VI. 家庭用品委員会.....	16
VII. 海外市場開拓委員会	16
VIII. 組合運営に関するタスクフォース	16
第六 事業関係	18
I. 新年賀詞交歓会	18

II. 展示商談会	18
III. EPA/FTA 協議等への対応	19
IV. 繊維貿易情報センター	19
V. 研修会、講演会、セミナー等の開催	20
VI. 海外（含む駐日）関係機関等交流・協力等	27
VII. 上海分会	28
VIII. 繊維産業技能実習事業協議会と取引適正化推進への対応	29
IX. 関係当局への対応	33
X. 国内関係諸団体	34
XI. CSR について	34
第七 業務関係	36
I. 輸出繊維製品の原産地証明書発給状況	36
II. 広報、諸統計、その他	
1. 組合 HP・掲示	36
2. 諸統計の作成	36
3. 登記・届出関係	37

第一 2018年の繊維製品輸出動向

I. 総論

日本の繊維産業の長期にわたる海外移転により、我国の繊維品生産は縮小傾向にある。一方、海外繊維需要は世界経済の拡大により堅調に増加しており、高品質な日本産繊維品の海外需要は底堅く、近年、繊維品輸出は安定した輸出規模を維持している。

2018年の我が国の繊維品輸出は、高機能繊維などの付加価値商品が海外での堅調な需要に支えられて安定して輸出され、金額ベースでは前年に比べて微増となった。

ドルベースでの品目別輸出実績は、原料（綿）、糸、織・編物類は前年比微増となり、加えて不織布、衣料品などの輸出が増加した。

特に、織・編物類は輸出全体の43%を占めており、主要輸出市場である中国向けは多少減少したものの、縫製地としてシフトが続くベトナムを中心としたアセアン諸国への輸出が増加した。

(1) 2018年繊維品の輸出総括表

	百万円	前年対比	百万ドル	前年対比	千トン	前年対比
綿（わた）	92,039	101.1	834	102.7	214	93.0
糸	114,796	100.7	1,041	102.3	125	96.9
織・編物	367,514	100.2	3,329	101.8	160	100.1
不織布	84,668	109.9	768	111.7	60	109.7
衣料品	54,508	110.5	493	112.1	4	102.8
その他繊維品	149,466	100.0	1,353	101.4	336	97.3
繊維品総合計	862,991	101.8	7,818	103.4	900	97.4

出所：財務省貿易統計（以下同じ）

注：前年対比は%

織・編物は織物、タイヤコード織物、コーテッド織物、ニット生地を含む

(2) 2018 年 繊維製品・主要地域別輸出状況

	トン	前年対比	構成比	百万ドル	前年対比	構成比
アジア（中近東を除く）	701,452	97.7	77.9	5,667	103.2	72.5
中国	197,130	94.3	21.9	2,409	101.2	30.8
アセアン	355,212	99.0	39.5	2,059	106.6	26.3
中央アジア・中近東	21,021	65.3	2.3	286	80.4	3.7
ヨーロッパ	68,445	99.6	7.6	842	109.0	10.8
EU28	62,244	99.4	6.9	770	108.7	9.9
北米	61,964	100.5	6.9	727	108.4	9.3
米国	60,210	100.2	6.7	692	108.0	8.9
中米	5,249	88.0	0.6	60	96.6	0.8
南米	3,075	88.3	0.3	22	93.3	0.3
アフリカ	36,493	118.0	4.1	185	119.3	2.4
大洋州	2,544	84.8	0.3	29	88.1	0.4
全世界	900,243	97.4	100.0	7,818	103.4	100.0

出所：財務省貿易統計注
前年対比、構成比は%

昨年の主要地域別輸出実績を見ると、金額ベースで全輸出の73%を占めるアジア向けは前年比で中国向けは横這いであったが、アセアン向けが増加した。

近年、チャイナ・プラスワンにより中国からアセアン諸国への縫製地の移転が進み、EPA等を活用した製品持ち帰り用を含めて、我国からベトナムを中心としたアセアン諸国への織・編物類や糸の輸出が増加した。

Ⅱ. 主要繊維製品の輸出状況

1. 綿 類

2018年の繊維品輸出を主要品目別に見ると、全繊維輸出額のうちシェア11%の綿（わた）類は、数量が前年比7%減の21万4,341トン、金額は同3%増の8億3,434万ドルとなった。

主力品目の合繊綿は、数量が前年比3%減の18万62トン、金額は同6%増の7億5,150万ドル。最大市場の中国が数量で同2%減の7万85トン、金額では同5%増の2億5,735万ドルとなり、2016年に約30%の大幅減となった以降は同程度の水準が続いている。米国向け輸出は、数量が減少、金額は増加。EU向けは、数量が減少、金額は僅かに増加した。なお、合繊綿のうちポリエステル綿は、数量で同2%減の1万3,983トン、金額も同9%減の3,982万ドル。一方、主力のアクリル綿は数量が同3%減の13万2,815トンとなったが、金額は同8%増の5億4,821万ドルとなった。

また、スフ綿は数量が前年比25%減の1万4,338トン、金額も同26%減の6,313万ドルと3年連続での2桁減となった。主要市場である中国は数量で9%増の9,433トン、金額も6%増の4,280万ドルと2016年の50%を超える大幅減の後、漸く増加に転じたが、ベトナム向けが数量で同50%減となった他、インドネシア向けも減少した。

2. 糸 類

全繊維輸出のうち金額シェア13%の糸類は東アジア向け輸出が中心で、数量は前年比3%減の12万5,171トン、金額は同2%増の10億4,081万ドルとなった。

(1) 人絹糸

主な輸出先のうち、中国向けが数量で前年比6%増、金額が同11%増と2桁の増加、インドは数量が同2%減、金額は同6%増加した。全体としては数量が前年比100%と前年並みの1万2,237トン、金額が同7%増の1億6,299万ドルとなった。

(2) 合繊長糸

糸類のうち主力品目の合繊長繊維糸は、数量が前年比3%減少し10万4,652トン、金額は同1%増の8億25万ドルとなった。最大輸出市場の中国は数量が前年比5%増の1万8,322トン、金額も同4%増の1億5,985万ドル、タイが数量で同13%減、金額も同8%減少。その他主要国では米国向けが数量・金額ともに同10%を超える増加、EU向けが数量で同5%増、金額も同6%増加した。

これらのうち、素材別ではナイロン長糸の数量が前年比11%減の3万9,400トン、金額も同8%減の2億3,940万ドル。ポリエステル長糸は数量が同1%減の1万4,364トン、金額は

同 1%増の 1 億 862 万ドル。アクリル長糸は数量で同 2%増の 2 万 3,500 トン、金額も同 9%増の 1 億 1,649 万ドルとなった。

(3) その他の糸

主要な品目としては、合繊短繊維糸が数量で前年比 8%減少したものの金額は同 5%増加し 2,679 万ドル。また、綿糸は数量、金額ともに約半数を占めるタイが数量で同 26%減、金額も同 25%減少したものの、中国やベトナム向けは数量、金額ともに増加し、合計では数量で同 11%減の 3,444 トン、金額も同 5%減の 2,385 万ドルとなった。

3. 織・編物類

合成繊維の長繊維織物を中心に全繊維輸出額の 43%と最大のシェアを占める織・編物類の輸出は、金額が前年比 2%増の 33 億 2,933 万ドルとなった。メインの合繊長織物が増加したものの、綿織物などの短繊維織物が減少した。

(1) 合繊長織物

主要品目の合繊長織物輸出は、数量が前年比 3%増の 4 億 2,048 万平方メートル、金額も同 3%増の 10 億 940 万ドルとなった。数量、金額ともに約 3 分の 1 を占める中国向けが数量、金額ともに前年を下回ったが、中国に次ぐベトナムが数量、金額ともに大きく増加した。

なお、品種別ではポリエステル長織物が最大の輸出先である中国や中東向けなどで減少したが、ベトナムやEU向けが 10%以上増加し、合計では数量で前年比 1%増の 2 億 4,795 万平方メートル、金額も同 5%増の 5 億 9,695 万ドル。また、ナイロン長織物はスポーツ・カジュアル用を中心とした織物であり、数量シェア 41%を占める中国向けが減少したものの、これに次ぐベトナム向けが増加し、合計では数量で前年比 1%減の 8,415 万平方メートル、金額は同 1%増の 2 億 459 万ドルとなった。

(2) 合繊短織物

東アジアや中東を主な輸出先とする合繊短織物は、数量が前年比 1%減の 1 億 3,918 万平方メートル、金額も同 1%減の 3 億 3,605 万ドルとなった。民族衣装用のアラブ首長国向けが数量で同 10%減、金額も同 14%減、サウジアラビアが数量同 32%減、金額も同 33%減の大幅減となった。持ち帰り用を中心とした中国向けも数量で同 5%減、金額も同 1%減となる中、ベトナムが数量で同 14%増、金額も同 15%増加した。

このうち、90%以上を占めるポリエステル短織物は、40%程度のシェアを占める中東など西アジアが減少、一方でベトナムなど東アジア向けが比較的堅調に推移した。また、アクリル短織物はアラブ首長国連邦や東・南アジア向けが金額で大幅増となった。

(3) 綿織物

綿織物輸出は、数量が前年比 11%減の 1 億 825 万平方メートル、金額も同 8%減の 4 億 1,973 万ドルとなった。数量でシェア 77%を占める東・南アジア向けが主体で、このうち持ち帰り用を中心とする最大輸出相手国の中国向けが数量、金額ともに同 11%減、ベトナムが数量同 15%減、金額同 5%減。その他では、インドネシアと香港が数量、金額ともに減少し、マレーシアが増加。東・南アジア以外の国では、米国向けがデニムの伸び悩みや第三国産品との競合激化などから数量で同 15%減、金額も同 16%減少した。

(4) ニット生地

東アジアへ持ち帰りや産業資材用途での輸出が多いニット生地は、数量が前年比 5%増の 1 億 6,957 万平方メートル、金額も同 4%増の 6 億 15 万ドルとなった。最大市場の中国向けが数量で同 7%減少、金額も同 4%減少したが、第 2 位のベトナムは数量で同 9%、金額も同 14%増加。この他、インドネシア向けが数量、金額ともに同 30%を超える増加、タイも数量が同 31%、金額も同 9%増加した。

4. 不織布

芯地や衛生材料、自動車関連用途、その他産業資材用などの多様な用途を持つ不織布の輸出市場最大である中国向けは、数量が前年比 7%増、金額も同 10%増となり、全体では数量で同 8%増の 9 億 3,132 万平方メートル、金額が同 12%増の 7 億 6,752 万ドルとなった。金額で中国に次ぐ米国向けは数量で同 9%増、金額も同 15%増、数量では 2 位の韓国は数量が同 14%増、金額も同 30%増加した。

5. アパレル

中古品を除くアパレル輸出は、主要品目の布帛製外衣と同下着、また、ニット製外衣と同下着を合わせたアパレル全体での金額が同 12%増の 4 億 9,300 万ドルとなり、前年の減少から増加に転じた。

米国経済が好調なこともあり米国向けが増加したのをはじめ、主要な輸出先である香港や中国、EU向けが堅調に推移した。

6. その他製品

「技術的用途に供するもの」や「ウォッディング」、「細幅織物」、「ゴム加工織物」、「紐・綱・ケーブル及びその製品」など前項のいずれにも属さない「その他繊維品」の輸出は、前年比 1%増の 13 億 5,255 万ドルであった。

繊維輸出総括表（2018年1～12月）

	単位 (千)	平成29年(2017年)		平成30年(2018年)		前年比(%)	
		数 量	金 額 (千ドル)	数 量	金 額 (千ドル)	数量	金額
< 繊維原料計 >							
スフ綿	KG	19,051	85,392	14,338	63,130	75.3	73.9
合繊綿	KG	185,461	706,862	180,062	751,495	97.1	106.3
その他綿	KG	25,996	20,073	19,941	19,718	76.7	98.2
繊維原料計	KG	230,508	812,327	214,341	834,343	93.0	102.7
< 糸 類 >							
人絹糸	KG	12,228	152,982	12,237	162,987	100.1	106.5
合繊長繊維糸	KG	107,939	790,459	104,652	800,250	97.0	101.2
合繊短繊維糸	KG	3,994	25,597	3,671	26,789	91.9	104.7
その他糸	KG	4,979	48,120	4,610	50,786	92.6	105.5
糸類計	KG	129,140	1,017,158	125,171	1,040,812	96.9	102.3
< 織・編物 >							
織 物	SM	746,608	2,219,691	739,089	2,222,105	99.0	100.1
絹織物	SM	4,786	50,112	4,854	45,680	101.4	91.2
毛織物	SM	18,883	177,695	18,548	189,853	98.2	106.8
綿織物	SM	122,379	456,180	108,250	419,730	88.5	92.0
麻織物	SM	1,589	11,948	1,693	12,963	106.6	108.5
人絹織物	SM	42,975	183,030	42,909	192,385	99.8	105.1
スフ織物	SM	5,245	24,619	3,180	16,046	60.6	65.2
合繊長繊維織物	SM	409,767	975,767	420,479	1,009,395	102.6	103.4
合繊短繊維織物	SM	140,985	340,339	139,175	336,054	98.7	98.7
その他織物	KG	25,163	474,796	27,030	507,078	107.4	106.8
ニット生地	SM	162,061	576,713	169,565	600,147	104.6	104.1
織・編物計	KG	160,297	3,271,199	160,498	3,329,330	100.1	101.8
< 二次製品 >							
不織布	SM	866,228	686,829	931,315	767,520	107.5	111.7
衣 類	KG	3,418	439,791	3,513	493,002	102.8	112.1
その他繊維製品	KG	345,816	1,333,387	336,416	1,352,552	97.3	101.4
繊維品合計	KG	924,165	7,560,691	900,243	7,817,559	97.4	103.4

出所：財務省貿易統計

第二 組合員の異動及び機構等

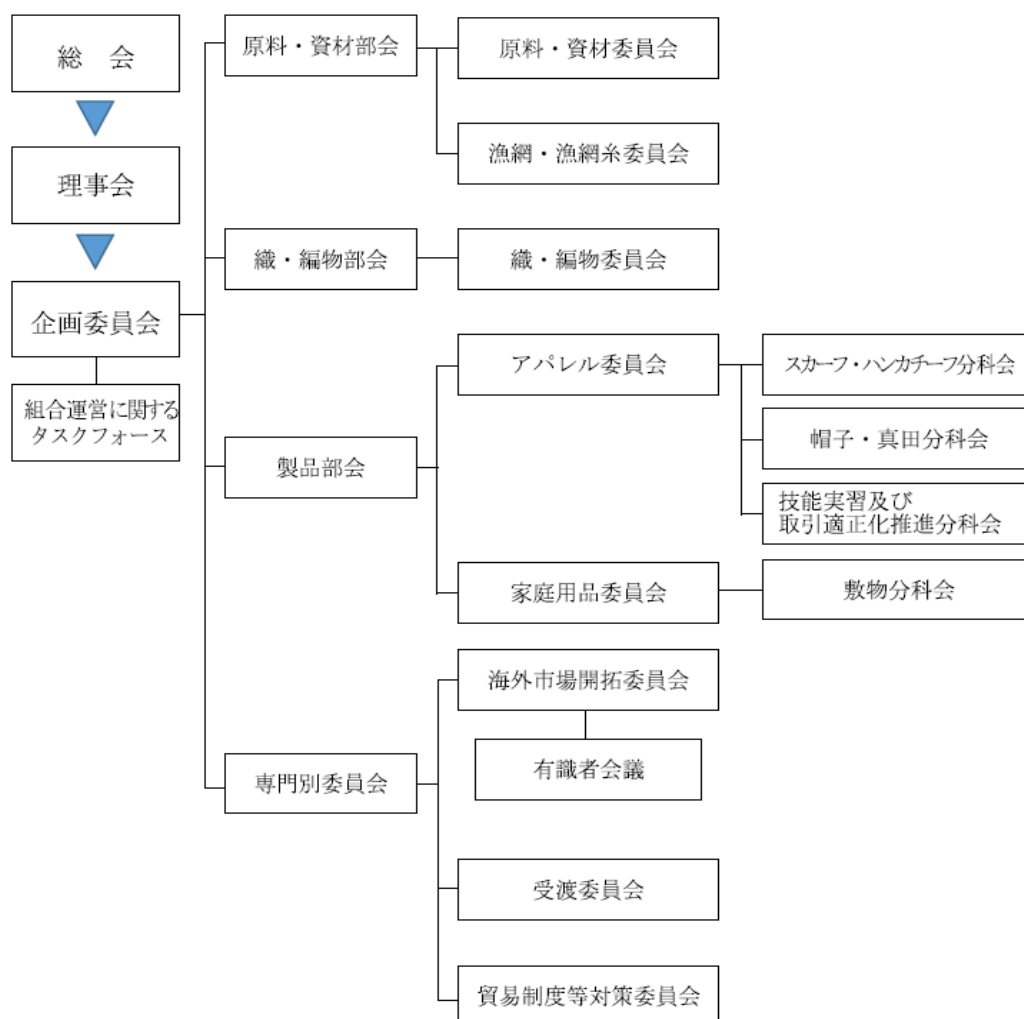
2019年3月31日現在

I. 組合員の異動

I. 組合員の異動

年度初頭組合員数	年度中の異動			年度末組合員数
	加 入	脱 退	合 併	
正組合員数 115	3 (内 承継加入 2件)	4 (内 承継脱退 3件)		114

II. 機 構



Ⅲ. 役 員

(敬称略)※印:員外理事

(2018年5月29日(火)第19回通常総会選任)

	氏 名	社 名	役 職 名
理 事 長	藤田 礼次	三井物産(株)	執行役員コンシューマービジネス本部長
副理事長	木原 伸一	三井物産(株)	ファッション・繊維事業部長
副理事長	大平 裕一	丸紅(株)	執行役員 ライフスタイル本部長
副理事長	清水 源也	伊藤忠商事(株)	執行役員 ファッションアパレル部門長
副理事長	山田 哲也	三菱商事(株)	リテイル本部 S.P.A.衣料部長
副理事長	中村 英一	日鉄住金物産(株)	取締役 専務執行役員
副理事長	西田 吉彦	西田通商(株)	代表取締役
副理事長	岸 誓久	双日(株)	繊維事業部長
副理事長	藤本 清貴	帝人フロンティア(株)	常務執行役員 衣料繊維第二部門長
副理事長	佐橋 由文	豊田通商(株)	アパレル事業部長
副理事長	八木 雄三	八木通商(株)	代表取締役社長
※専務理事	江花 徹	事務局	専務理事
※常務理事	森 昇	事務局	常務理事
理 事	速水 隆夫	(株)チクマ	婦人服地部長
理 事	吉田 裕志	蝶理(株)	取締役 執行役員
理 事	川久保 理	(株)コム・テ・ギャルソン	常務取締役
理 事	中村 一郎	(株)デザート	取締役会長
理 事	中山 正輝	(株)GSIクレオス	常務取締役
理 事	西野 幸信	カネヨウ(株)	営業統括担当 兼 特命担当
理 事	伊藤 洋二	清原(株)	取締役 海外事業部長
理 事	川俣 雅義	興和(株)	執行役員 生活関連事業部長
理 事	桃井 一光	桃井製網(株)	代表取締役社長
理 事	今泉 賢治	(株)ナイガイ	代表取締役社長
理 事	竹中 宏	西澤(株)	取締役会長
理 事	俣野 太一	日織商工(株)	代表取締役社長
理 事	林 秀次郎	野村貿易(株)	執行役員 ライフ部門長
理 事	杉上 光男	(株)野澤組	執行役員 大阪支店長
理 事	原 正之	サカクラ(株)	取締役 営業部長
理 事	川崎 賢祥	三共生興(株)	代表取締役社長
理 事	北 敦夫	神栄ライフテックス(株)	代表取締役社長
理 事	小川 吉宏	住友商事(株)	繊維事業部長

	氏 名	社 名	役 職 名
理 事	植木 博行	田村駒(株)	代表取締役社長
理 事	渡邊 紘志	東洋紡STC(株)	取締役 執行役員
理 事	豊島 半七	豊島(株)	代表取締役社長
※理 事	竹内 友幸	事務局	理事
監 事	谷野 一成	(株)オーノ	代表取締役社長
監 事	奥村 政博	東光商事(株)	取締役 総務部部長
監 事	大岡 聡	エニチカトレーディング(株)	グローバル事業部部長

第三 事業の概要

2018年度(平成30年度)における当組合事業は、組合員共通の利益の増進と繊維品輸出貿易の健全な発展を図ることを目的に、事業計画に基づき理事会、企画委員会、各委員会等の審議を経て、種々の事業活動を実施した。

本年度における主たる事業活動の概要は以下のとおりである。

1. 輸出の秩序化と活性化に資するための情報収集を行い、組合員及び関係当局等へ情報提供を行い相互に意見交換、意思疎通をすすめた。
2. 日本繊維産業連盟・通商問題委員会等に参画し、EPA、FTA を中心とした繊維通商問題について、政府並びに関係業界に対し意見具申し、情報交換、意見交換を行うとともに関連するセミナーを開催し、組合員への情報発信を行った。併せて事務局は各種EPA、FTA についての組合員よりの問い合わせ窓口として対応した。
3. 経済産業省の所管のもと、日本繊維産業連盟及び傘下団体を始めとした我が国の繊維団体を構成員とする「繊維産業技能実習事業協議会」へ参画し、外国人技能実習制度の適正な実施に向け対応した。並びに、SCM 協議会による取引適正化の「自主行動計画」への取組として組合員への「取引ガイドライン第三版」など情報発信による普及啓発に努め、併せてアンケートやヒアリング調査等を実施しフォローアップを行った。(P.29)
4. 海外市場開拓委員会の事業として輸出組合主催で東京・青山にて「第5回アセアン縫製用素材展」(2019.2.21(木)～22(金))を開催し、組合員13社が出展した。約1,000名弱のバイヤーが来場し、活発な展示・商談が行われた。会期中、同所にて3件のセミナーを開催した。(P.18)
5. 中国・上海にてCSR(企業の社会的責任)についてのセミナーを開催したのを始めとして、CSR 遵守に関しての情報発信や啓蒙活動を行った。(P.28、34)
6. 税関や各専門家による「貿易実務の基礎」、「繊維の基礎知識」など、組合員新入社員向け各種研修会を実施し、組合員企業の人材育成に寄与した。その他組合員の関心の高い事項について各種セミナーを開催し、併せて大阪で港湾見学会を実施した。尚、研修会、セミナー開催回数は、関東地区11回。関西地区15回、名古屋地区2回、上海地区2回。(P.20、28、34)
7. 繊維貿易情報センターでは、中国、アセアン諸国を中心に情報収集に努め、「中国情報」「ベトナム情報」を中心に各種情報のメール配信を行った。(P.19)

8. 日本繊維輸入組合、(一社) テキスタイル倶楽部との合同事業として、上海駐在の組合員企業間の情報交換を目的に上海分会を前年度に続き設置し、今年度は2回会合を開催しセミナーや意見交換を行った。同セミナーには組合員駐在員とナショナルスタッフが参加した。(P.28)
9. 「第8回日中韓繊維産業協力会議」(3ヶ国の繊維産業団体による年次会議)(2018.11.5 中国 西安)に参加した。(P.27)
10. 中国、アセアン諸国、インドなどを中心とする海外関係機関との交流促進や、これらの機関の我が国での展示商談会の後援や、諸外国からのミッションや訪日者の受け入れを行った。(P.27)
11. 「組合運営に関するタスクフォース」を開催して①組合の中期収支見通し②次年度の組合賦課金率③次年度の各委員会事業計画について検討を行い、結果を企画委員会に提言した。(P.16)
12. 海外市場開拓委員会の下部機構として「有識者会議」を設置して、組合事業の企画立案及び輸出状況の分析等について活発な意見交換を行った。(P.16)
13. 原産地証明業務として、原産地証明書の発給業務を行った。(P.36)
14. 通関情報処理システムの組合員の輸出入情報を代行処理し、当組合ホームページ内で組合員が閲覧可能な自社分の日次の輸出入データの情報提供を行った。(P.36)
15. 「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、その他各種統計資料を作成し、輸出組合のホームページに掲示し、組合員への情報提供を行った。(P.36)
16. ジェトロ、日本貿易会、日本繊維産業連盟等の国内関係諸機関、諸団体事業への協力を行った。(P.34)

第四 総会・理事会・監事会

I. 総 会

第19回通常総会

日 時：2018年5月29日（火）15時30分～16時20分

場 所：ホテル グランドパレス 4階「桂・橘の間」（東京都千代田区飯田橋 1-1-1）

議 長：秋吉理事長

議 案：第1号議案 2017年度（平成29年度）事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件

第2号議案 2018年度（平成30年度）事業計画書並びに収支予算書、各案承認に関する件

第3号議案 2018年度（平成30年度）における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件

第4号議案 任期満了に伴う役員改選の件

以上が審議され、承認された。

II. 理 事 会

第59回 理事会

日 時：2018年5月10日（木）12時30分～13時50分

場 所：東京事務所 4階「会議室」

議 長：大平副理事長（理事長代行）

議 案：第1号議案 2017年度（平成29年度）事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件

第2号議案 2018年度（平成30年度）事業計画書並びに収支予算書、各案承認に関する件

第3号議案 2018年度（平成30年度）における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件

第4号議案 委員会事業について

第5号議案 当組合への新規加入申請について

第6号議案 役員の任期満了に伴う候補者の推薦に関する件

第7号議案 2018年・2019年度の各委員会の委員選出に関する件

第8号議案 第19回通常総会の開催日時及び場所決定に関する件

第60回 理事会

(輸入組合 第369回理事会との合同開催)

日 時：2018年5月29日(火) 17時20分～17時30分

場 所：ホテル グランドパレス 4階「ゴールデンルーム」

議 長：藤田理事長

議 案：1. 理事長、副理事長、理事長代行、専務理事、常務理事、顧問の選任に関する件
2. その他

Ⅲ. 監 事 会

日 時：2018年4月20日(金) 12時00分～13時30分

場 所：輸出繊維会館 当組合会議室

2017年度決算書類及び伝票・証憑類等の監査

第五 企画委員会及び商品・専門別委員会等

I. 企画委員会

企画委員会は、組合事業運営に関する諸事項や、商品別、専門別の各委員会、また、組合運営に関するタスクフォースから、それぞれ提議された重要事項について審議し、理事会に付議した。

委員会（平成30年度第1～3回）、議題・審議事項

平成30年度第1回

1. 平成29年度(2017年度)事業報告書及び財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分、各案承認に関する件
2. 平成30年度(2018年度)事業計画書及び収支予算書、各案承認に関する件

平成30年度第2回（輸入組合 第182回企画委員会との合同開催）

1. 平成30年度正副委員長互選について
2. EPA協議など最近の通商動向について
3. 「組合運営に関するタスクフォース」の継続設置について
4. 「繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組」への対応について
5. 海外市場開拓委員会「第5回アセアン縫製用素材展」について
6. 輸出組合「第5回アセアン縫製用素材展」との協賛について（輸入組合議題）
7. 中国紡織品進出口商会との「日中繊維貿易定期協議」について
8. その他

平成30年度第3回（輸入組合 第183回企画委員会との合同開催）

1. 最近の通商動向について
2. 2019年の繊維製品輸入見通しについて（輸入組合議題）
3. 各委員会の活動および事業計画(案)について（輸入組合議題）
4. 輸入組合「組合運営に関するタスクフォース」での検討結果について（輸入組合議題）
5. 2019年の繊維製品輸出見通しについて
6. 輸出組合「組合運営に関するタスクフォース」での検討結果について
7. 委員会事業活動報告

Ⅱ. 原料資材委員会

委員会及び情報交換会（平成 30 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

1. 平成 31 年(1～12 月)原料・資材輸出見通し策定について
2. 平成 31 年度事業計画について

Ⅲ. 漁網・漁網糸委員会

委員会及び情報交換会（平成 30 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

1. 平成 31 年(1～12 月)漁網輸出見通し策定について
2. 平成 31 年度事業計画について

Ⅳ. 織・編物委員会

委員会及び情報交換会（平成 30 年度第 1 回）、議事内容、事業活動

1. 平成 31 年(1～12 月)織・編物輸出見通し策定について
2. 平成 31 年度事業計画について

Ⅴ. アパレル委員会（東京・大阪合同）

委員会及び情報交換会（平成 30 年度第 1 回、第 2 回）、議事内容、事業活動

平成 30 年度第 1 回

1. 「海外取引のリスクと貿易保険」について
2. 「外国人技能実習の適正な実施等のための取組」について

平成 30 年度第 2 回（輸入組合 第 106 回アパレル委員会との合同開催）

1. 2019 年の為替見通しについて
2. 2019 年のアパレル輸出見通し策定について
3. 委員交代及び正副委員長選任について（輸入組合議題）
4. 2019 年のアパレル輸入見通し策定について（輸入組合議題）

〈 技能実習及び取引適正化推進分科会 〉

分科会及び情報交換会（平成 30 年度第 1 回、第 2 回）、議事内容、事業活動

第 1 回（輸入組合 第 1 回技能実習及び取引適正化推進分科会との合同開催）

1. 委員長選出について

2. 外国人技能実習制度の現状について
3. 組合員へのアンケート調査について

第2回（輸入組合 第2回技能実習及び取引適正化推進分科会との合同開催）

1. （一社）日本アパレル・ファッション協会におけるCSRへの取り組み等について
2. 「サプライチェーン上における外国人技能実習制度に関するアンケート」の調査結果について
3. CSR調達に関する取り組み事例のご紹介（日鉄住金物産 様）

VI. 家庭用品委員会

委員会及び情報交換会（平成30年度第1回）、議事内容、事業活動

1. 平成31年(1～12月)家庭用品輸出見通し策定について
2. 平成31年度事業計画について

VII. 海外市場開拓委員会

1. 組合主催展示会「第5回アセアン縫製用素材展」を実施した。
2. 海外市場や輸出動向について情報交換を行った。
3. 今後の事業活動計画を検討した。

※ 尚、海外市場開拓委員会の諮問機関としての「有識者会議（米良座長）」は、ほぼ毎月開催され、組合事業の企画立案を始めとして、輸出状況の分析や輸出に係わる諸事項について幅広い意見交換を行い、検討内容を海外市場開拓委員会へ報告し、組合の事業運営に貢献した。

VIII. 組合運営に関するタスクフォース

本機関は、①輸出組合の中期収支見通しのリバイス、②組合運営効率化、機能強化等の検討及び対応、③今後新たに事業強化すべき課題、等これらに関する検討と推進を目的に企画委員会の下部組織として継続設置された。平成30年度（2018年度）の主な活動内容は以下のとおり。

委員会（平成 30 年度第 1 回）、議題・審議事項

平成 30 年度第 1 回

1. 平成 30 年度(2018 年度)タスクフォース議長選出について
2. 中期輸出入見通し等アンケートの調査結果について
3. 平成 31 年度の委員会事業予定について
4. 組合の中期収支見通しについて
5. 平成 31 年度賦課金率について
6. 委員会の一部改編について

第六 事業 関係

I. 2019 年（平成 31 年）新年賀詞交歓会【日本繊維輸入組合と共催】

	関西地区	中部地区	関東地区
開催日	2019 年 1 月 7 日（月）	2019 年 1 月 8 日（火）	2019 年 1 月 11 日（金）
会場	輸出繊維会館	名古屋観光ホテル	ホテル グランドパレス
年頭挨拶	木原理事長代行	豊島理事	藤田理事長
来賓祝辞	近畿経済産業局 村上通商部長 殿	中部経済産業局 閑念地域経済部部長 殿	経済産業省製造産業局 大内審議官 殿
乾杯発声	伊藤忠商事(株) 清水副理事長	伊藤忠商事(株) 名古屋支社華井繊維部長	三菱商事(株) 山田副理事長
司会	崎山 企画委員長	伊神 ロジスティクス委員	加藤 企画委員長
出席者数	約 240 名	約 110 名	約 115 名

II. 展示商談会

(1) 「第 5 回アセアン縫製用素材展」の実施

名称：第 5 回アセアン縫製用素材展

会期：2019 年 2 月 21（木）09：30 - 17：00
22（金）09：30 - 16：00

会場：TEPIA エキシビジョンホール（1,230 m²）
〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-44

主催：日本繊維輸出組合

協賛：日本繊維輸入組合

出展品：アセアン縫製用の日本産及び海外産テキスタイルと関連製品

出展者：日本繊維輸出組合員企業 13 社

一村産業(株)、興和(株)、シキボウ(株)、スタイレム(株)、田村駒(株)、蝶理(株)、
帝人フロンティア(株)、東光商事(株)、東洋紡 STC(株)、東レグループ、
豊島(株)、日鉄住金物産(株)、ユニチカトレーディング(株)（社名 50 音順）

来場者数：944 名（前年比 90%）

概要：中国からアセアン地域への縫製地のシフトが進展する中で、アセアン縫製に
対応する日本仕様、日本品質の素材ニーズが増加しており、組合員ビジネスの
一助とする事を目的とし、組合員を出展者としたアセアン縫製用の
日本産・海外産テキスタイル及び関連製品の展示会を今年度も継続して

開催した。

第5回目を迎える今回は、組合員企業13社が「アセアン縫製」をキーワードに提案素材の高度化に加え、展開アイテムの拡充を図り出展し、現地ネットワークと仕組みを活用したアセアン縫製における顧客ニーズに対応する様々な提案を行い、2日間で944名の来場者が訪れ、大変盛況のうちに終了した。また、会期中には、アセアン生産の訴求や来場者動員等を目的として、アセアン地域での生産に関わる最新情報等を発信する併催セミナーの開催や、今年からは会場内にTREND & INDEXコーナーの設置を行った。

Ⅲ. EPA/FTA 協議等への対応

EPA/FTA について

繊維分野における現在交渉中並びに交渉中であったEPA（TPP11、日EU、RCEP、日中韓等）や発効後10年を経過するアセアン各国とのEPAの見直しなどについて経済産業省の意見徴収に対応し、交渉中のEPAに関しては早期締結に向け協力した。

Ⅳ. 繊維貿易情報センター

2006年9月から繊維貿易情報センターとして組合の事業活動の一環として設置された。2018年度は前年に引き続き中国情報、組合員向けの研修会を開催するとともに、新しくベトナム情報の配信を行った。

1. 繊維貿易情報センターに研究員として次のとおり委嘱した。

米良章生	上席研究員	繊維貿易政策担当
神山義明	上席研究員	インド、南アジア地域担当
武藤和芳	主任研究員	輸出振興事業担当
古宮 滋	主任研究員	アセアン地域担当
大谷 巖	主任研究員	EU 地域及び貿易手続き関係担当
竹内忠男	主任研究員	ファッショントレンド・テキスタイル担当
正田康博	主任研究員	縫製技術・生産管理担当
神谷憲一	主任研究員	貿易手続き、アセアン地域担当
藤田 誠	研究員	ミャンマー担当

2. 情報配信事業

(1) 中国情報

2018年度中に組合員に11回、中国等を中心に繊維取引・貿易に関わる法令・制度や政策等の改変、関税、貿易統計、市場動向等に関わる種々の情報をまとめ、組合員に配信した。

(2) ベトナム情報

2018年度中に組合員に22回、ベトナムを中心に貿易に関わる法令・制度や政策、貿易統計、市場動向等に関わる種々の情報をまとめ、組合員に配信した。

3. 研修会

組合員の新入社員向けに、担当研究員が講師となり2018年7月及び2019年2月に、東京、大阪、名古屋で貿易実務研修を行った。

V. 研修会、講演会、セミナー等の開催

〈関東地区〉

(1) 貿易実務の基礎 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部、協同組合関西ファッション連合)

開催日：2018年7月5日(木)

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：170名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(2) セミナー/「越境ECの基礎知識 ～中国向け越境EC動向を中心として～」 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部、協同組合関西ファッション連合)

開催日：2018年7月19日(木)

開催場所：テレコムセンタービル

出席者数：53名

講師：独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO)

ものづくり産業部 生活関連産業課 課長代理 草場 歩 氏

(3) 繊維の基礎知識 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年7月31日(火)

開催場所：国際ファッションセンター(KFC)

出席者数：182名

講師：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター

「繊維製品の表示の基礎－組成表示から取り扱い表示まで」 杉谷 和巳 氏

「品質基準と評価・事故調査の基礎知識」 川本 哲也 氏

(4) セミナー/「サステナビリティの潮流～外国人技能実習制度及び取引適正化をふまえて～」

(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年10月5日(金)

開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部 会議室

出席者数：10名

講師：(一社) サ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 理事 和田 征樹 氏

(一社) サ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 理事 森 翔人 氏

(5) 第27回貿易実務研修会(共催：輸入組合)

開催日：2018年12月12日(水)

開催場所：テレコムセンタービル

出席者数：76名

講師：一般社団法人 日本通関業連合会

「申告手続きについて」 株式会社共同フレイターズ 橋本 紗代子 氏

「通関時の商品分類について」 株式会社阪急阪神エクスプレス 片岡 照美 氏

「関税の減免・戻し税制度について」

神原ロジスティクス株式会社 片岡 由枝 氏

「GSP・EPAの原産地認定基準について」

一般社団法人 日本通関業連合会 常務理事 清水 和男 氏

「関税評価制度について(輸入のみ)」 誠貿易運輸 株式会社

誠貿易運輸 株式会社 宮口 亜希子 氏

(6) セミナー/「中国とベトナムの人材市場と対日外国人実習生送出しの実態等」(共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年12月6日(木)

開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部

出席者数：17名

講師：Selege 代表取締役

中智上海経済技術合作有限公司(大阪支店) 最高顧問 菅野 直純 氏

(7) 日 EU・EPA 原産地規則説明会 (主催：日本繊維産業連盟、共催：輸出組合、輸入組合)

開催日：2019年1月28日(月)

開催場所：ビジョンセンター東京八重洲南口

出席者数：114名(輸入組合、輸出組合からの参加者)

講師：経済産業省

「日 EU・EPA 概要について」通商政策局経済連携課 課長補佐 高橋 幸二 氏

「日 EU・EPA のおける原産地証明制度(自己証明制度)について」

通商政策局経済連携課 課長補佐 高橋 幸二 氏

製造産業局生活製品課 課長補佐 村山 明日香 氏

(8) 貿易実務の基礎 研修会～実践編～ (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2019年2月5日(火)

開催場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル

出席者数：60名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(9) 日本 EU 経済連携協定に関する説明会(繊維製品について) (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2019年2月8日(火)

開催場所：テレコムセンタービル

出席者数：80名

講師：東京税関 業務部 総括原産地調査官 原産地調査官 太田 陽子 氏

上席調査官 出口 雅也 氏

調査官 小島 聖子 氏

(10) 「第5回アセアン縫製用素材展」併催セミナー(関東地区)

開催日：2019年2月21日(木)・22日(金)

開催場所：TEPIA

講師：

1日目 ①「メコン地域の物流事情」

南アジア、オセアニア日本通運株式会社 NSAO メコン開発センター

ネットワーク企画部 部長 池田 秀 氏

出席者数：27名

②「ベトナムを中心としたアセアン生産情報」

BVCPS カケンベトナム試験室 室長 池田 翔太郎 氏

(一財)カケンテストセンター 国際部 次長 羽生 裕之 氏

出席者数：94名

2日目 ③「チャイナプラスワンの現状とこれから」

JETRO 海外調査部アジア大洋州課 課長代理 小林 恵介 氏

出席者数：90名

(11) 一般財団法人ボーケン品質評価機構 「繊維評価試験研修及び施設見学会」 (共催：

輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2019年3月12日(火)

集合場所：一般財団法人ボーケン品質評価機構 東京本部

参加者数：36名

内 容：セミナー：BOKEN アパレル塾、「試験」コース(繊維製品の試験とその評価方法)

試験・検査施設見学：

○繊維試験：混用率試験、物性試験室、生地検査試験室、製品検査試験室、
試験評価判定室、ホルムアルデヒド試験室

○機能性試験：抗菌試験室、機能性試験室

○認証・分析試験：化学分析室

○生活用品試験：生活・服飾雑貨試験室、家具試験室、スポーツ用品試験室、
産業資材試験室

〈関西地区〉

(1) セミナー/「中国及びASEANにおける輸送改善トレンド」(共催：輸入組合、日中経済貿易
センター、テキスタイル倶楽部、ダイセン株)

開催日：2018年6月26日(火)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：70名

講師：日本通運株式会社 海外事業本部

グローバルロジスティクスソリューション部 課長 吉田 将人 氏

(2) セミナー/「越境ECの基礎知識 ～中国向け越境EC動向を中心として～」(共催：輸入
組合、テキスタイル倶楽部、協同組合関西ファッション連合)

開催日：2018年7月4日(水)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：76名

講師：独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO)

ものづくり産業部 生活関連産業課 課長代理 草場 歩 氏

(3) 繊維の基礎知識と品質評価 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年7月5日(木)、6日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：5日=66名、6日=43名

講師：一般財団法人 カケンテストセンター

- | | | |
|-----|----------------------------------|---------|
| 1日目 | 1. 「繊維・糸・生地及び染色の基礎知識」 | 奥 貴憲 氏 |
| | 2. 「生地品質の評価」 | 塩谷 大輔 氏 |
| | 3. 「ヨーロッパ向け試験方法及び品質表示」 | 田中 健太 氏 |
| 2日目 | 1. 「縫製品の基礎知識と性能評価」 | 森 秀樹 氏 |
| | 2. 「衣料品の国内法規制（組成表示、取扱い表示、原産国表示）」 | 並木 克彦 氏 |
| | 3. 「付加する機能とその評価」 | 森下美樹子 氏 |

(4) 貿易実務の基礎 研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年7月13日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：87名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(5) 「不織布の基礎知識」勉強会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年9月6日(木)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：60名

講師：ダイセン株式会社 取締役 中部・北陸支社長 西田 貴夫 氏

(6) 神戸港施設見学会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年9月20日(木)

集合場所：神戸市役所3号館前

参加者数：41名

内容：チャーター船による神戸港施設・KICT コンテナターミナル 見学

(7) セミナー/「サステナビリティの潮流」 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年10月12日(金)

開催場所：輸出繊維会館

参加者数：12名

講師：(一社) サ[®]・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 理事 和田 征樹 氏
(一社) サ[®]・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 理事 森 翔人 氏

(8) 第27回貿易実務研修会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年11月21日(水)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：42名

講師：大阪税関 業務部 各担当官

「AEO制度」について	認定事業者管理官	宮川	認定事業者管理官
「輸入申告手続き」について	通関総括第1部門	山本	上席審査官
「関税評価」について	関税評価部門	江川	関税評価官
「原産地規則」について	原産地部門	伊藤	上席審査官
「品目分類」について	関税鑑査官	宇野	関税鑑査官
「加工再輸入減税制度」について	通関総括第3部門	平木	総括審査官

(9) 一般財団法人カケンテストセンター 試験室見学会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年11月22日(木)

集合場所：一般財団法人カケンテストセンター 大阪事業所

参加者数：20名

内容：セミナー：「付加する機能とその評価」 松下 氏

試験見学：染色堅牢度試験（耐光、洗濯、汗、摩擦）、混用率、繊維鑑別、ホルマリン、紫外線遮蔽率、消臭、抗菌、帯電性、吸湿発熱、吸水速乾性、接触冷温感、引張強さ、引裂強さ、破裂強さ、滑脱抵抗力、ピリング

(10) セミナー/「中国とベトナムの人材市場と対日外国人実習生送出しの実態等」 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年11月30日(金)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：6名

講師：Selege 代表取締役

中智上海経済技術合作有限公司(大阪支店) 最高顧問 菅野 直純 氏

(11) 日EU経済連携協定に関する説明会 (共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部)

開催日：2018年12月19日(水)

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：76名

講師：「日EU・EPAと新たなビジネス機会について」

日本貿易振興機構 海外調査部欧州ロシアCIS課 課長 田中 晋 氏

「日 EU・EPA 原産地規則（繊維）概要について」

経済産業省 通商政策局 経済連携課 係長

畑島 勝 氏

製造産業局 生活製品課 課長補佐(国際担当)

村山 明日香 氏

(12) 日 EU・EPA 原産地規則説明会（主催：日本繊維産業連盟、共催：輸出組合、輸入組合）

開催日：2019年1月28日（月）

開催場所：綿業会館

出席者数：67名（輸入組合、輸出組合からの参加者）

講師：経済産業省

「日 EU・EPA 概要について」通商政策局経済連携課 課長補佐 高橋 幸二 氏

「日 EU・EPA のおける原産地証明制度（自己証明制度）について」

通商政策局経済連携課 課長補佐 高橋 幸二 氏

製造産業局生活製品課 課長補佐 村山 明日香 氏

(13) 貿易実務の基礎 研修会～実践編～（共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2019年2月8日（金）

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：44名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(14) 日本 EU 経済連携協定に関する説明会（繊維製品について）（共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2019年2月15日（金）

開催場所：輸出繊維会館

出席者数：93名

講師：東京税関 業務部 総括原産地調査官 原産地調査官 太田 陽子 氏

上席調査官 出口 雅也 氏

調査官 小島 聖子 氏

(15) 一般財団法人ボーケン品質評価機構 「繊維評価試験研修及び施設見学会」（共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2019年3月15日（金）

集合場所：一般財団法人ボーケン品質評価機構 大阪本部

参加者数：19名

内容：セミナー：BOKEN アパレル塾、「試験」コース(繊維製品の試験とその評価方法)

試験・検査施設見学：

○繊維試験：混用率試験、物性試験室、生地検査試験室、製品検査試験室、

試験評価判定室、ホルムアルデヒド試験室

○機能性試験：抗菌試験室、機能性試験室

○認証・分析試験：化学分析室

○生活用品試験：生活・服飾雑貨試験室、家具試験室、スポーツ用品試験室、
産業資材試験室

〈名古屋地区〉

(1) 貿易実務の基礎 研修会 （共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2018年7月12日（木）

開催場所：ABO（安保）ホール

出席者数：27名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

(2) 貿易実務の基礎 研修会 （共催：輸入組合、テキスタイル倶楽部）

開催日：2019年2月7日（木）

開催場所：名駅モリシタ名古屋駅前中央店

出席者数：5名

講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏

VI. 海外(含む駐日)関係機関等交流・協力等

- バングラデシュ大使館商務部、バングラデシュニット製品製造輸出業協会訪日代表団との意見交換（4/5 東京）
- 中国国貿促青島分会等 繊維業者との面談（4/10 大阪）
- 台湾紡拓会の謝國輝プロジェクトマネージャーとの懇談（4/12 大阪）
- ウズベキスタン大使、新大使着任に伴う表敬訪問（5/22 東京）
- タイ国ファッション&テキスタイル製品展示商談会・懇談会（7/10 大阪）
- インド総領事・西ベンガル州 商工省 筆頭次官補とその派遣団との意見交換（7/20 大阪）
- インド「Handloom Export Promotion Council(HEPC)」の協力要請による「インド手織り・希少素材展示内覧会」を催す。（9/26～28 & 10/24～26 東京）
- パンテキスタイルフェア（10/31～11/1 大阪）
- 日中韓繊維産業協力会議（11/5 西安/中国）
- 台湾紡拓会の謝氏・文氏との懇談（1/24 大阪）
- インド中央政府派遣団との面談（2/18 大阪）

- パキスタン アブバカル商務参事官との面談 (2/19 大阪)
- ウズベキスタン共和国訪日団との懇談 (3/28 東京)

VII. 上海分会

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合、テキスタイル倶楽部（第7回から参加）の3団体は、合同事業として、組合員の上海駐在企業相互の情報交換と懇親を促進し、また、必要に応じて中国現地での各社に共通する問題の情報交換やその対応等を検討するために、平成18年8月に「上海分会」を設立した。平成29年度に於いては、横川会長（豊島国際（上海）有限公司董事長）の下で、下記の2回にわたって上海分会が開催された。

第47回「上海分会」

日 時：2018年6月29日（金） 16時～17時30分
 場 所：古北湾大酒店 5階 貴賓庁4
 議 事：講演：キーワードから読み解く中国消費の今後
 ～マーケティング視点から中国事業を見直す
 講師：キャストコンサルティング（上海）有限公司/董事/大亀 浩介氏

第48回「上海分会」

日 時：2018年10月26日（金） 13時25分～16時30分
 場 所：古北湾大酒店 5階 「多功能庁」
 議 事：「CSRサプライチェーンセミナー」
 講演：帝人フロンティアのCSR調達の方針,取組： 帝人フロンティア(株)
 労働CSRの潮流(仮) Energetic Green
 中国環境保護法に関する改正及び直近の実施状況について 中国環境庁
 南通帝人の環境・安全への取り組みの歴史・現状と今後の方向性
 南通帝人有限公司

「上海分会」会員会社名簿（平成30年12月31日現在 25社/登録者数45名）

会社名（現地）	会社名（現地）
日鉄住金物産（上海）有限公司	帝人商事（上海）有限公司
蝶理（中国）商業有限公司	神栄（上海）貿易有限公司
科立思管理（上海）有限公司（GSI中国社）	東洋紡高機能制品貿易（上海）有限公司
伊藤忠繊維貿易（中国）有限公司	双日繊維（上海）有限公司
Forward Apparel Company	住衣時裝国際貿易（上海）有限公司

興和（上海）貿易有限公司	三發成（上海）国際貿易有限公司
丸紅（上海）有限公司	瀧定大阪（上海）商貿有限公司
丸紅繊維（上海）有限公司	田村駒（上海）紡織品有限公司
菱華商業（上海）有限公司	新東商国際貿易（上海）有限公司
三井繊維物資貿易（中国）有限公司	豊田通商（上海）有限公司
紹興凱越進出口公司杭州事務所	豊島国際（上海）有限公司
尼西則瓦（上海）貿易有限公司	八木通商（上海）有限公司
譜洛革時（上海）貿易有限公司	

〈管理部門分科会〉

上海分会の会員企業からの要望により、組合員の現地各社に共通する人事管理、法務、税務、財務等の管理部門が抱える諸問題について実務担当者による情報と意見の交換、及び交流を目的として、平成 22 年 9 月に「上海分会」の下に「管理部門分科会」を新たに設置した。

平成 30 年度に於いては、第 31 回(6 月 29 日)に開催された。

Ⅷ. 繊維産業技能実習事業協議会と取引適正化推進への対応

1. 繊維産業技能実習事業協議会

経済産業省と日本繊維産業連盟は、外国人技能実習に関し、繊維産業における法令違反（最低賃金・割増賃金等の不払い、違法な時間外労働等）が多く指摘されていることから、2018 年 3 月 23 日、外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律第 54 条第 1 項に基づき、繊維業界団体等を構成員とした「繊維産業技能実習事業協議会」を設置し、2018 年 3 月 23 日に第 1 回会合を開催、本年度中に第 6 回までの会合を開催した。

第 1 回の会合においては、協議会設置の主旨、運営の要領、厚生労働省から外国人技能実習制度の現状と課題等について説明、法務省と外国人技能実習機構から技能実習制度の現状、不正行為、失踪について説明、経済産業省から責任あるサプライチェーンに関し 2015 年のサミットで議題に取り上げられた以降の取組について説明された。

第 4 回会合においては、「繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組」を決定・公表し、①技能実習に係る法令遵守等の徹底、②取引適正化の推進、③発注企業の社会的責任（サプライチェーンに対する責任）、④業界団体における態勢等の整備、などの

取組事項に対し、繊維業界として業界団体主導により、特に大企業が率先し具体的行動をとると共に縫製業の受発注企業及び業界団体も早急かつ重点的に「取組」への対応が求められている。

第2回（2018年4月23日）

- 議題1. 技能実習生の実態及び今後の取組等について（日本繊維産業連盟、繊維産業流通構造改革推進協議会、関係団体からの説明）
- 議題2. 意見交換
- 議題3. その他

第3回（2018年5月29日）

- 議題1. 技能実習生の実態及び今後の取組等について（第2回の発表の補足）
- 議題2. 繊維産業における外国人技能実習の適正な実施に向けて
 - ・事務局からの説明
 - ・意見交換
- 議題3. その他

第4回（2018年6月19日）

- 議題1. 繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組について
- 議題2. 意見交換
- 議題3. その他

第5回（2018年10月11日）

- 議題1. 取組状況のフォローアップ
 - ・構成員傘下の会員企業への周知及び会員企業からの取引先への協力依頼の状況及び組織の立上げ状況について
 - ・その他の取組について
- 議題2. サプライチェーンの責任に係る取組に関する事例紹介
「株式会社ジャパンイマジネーションのサプライチェーンに係る取組について」
- 議題3. 意見交換
- 議題4. 次回協議会に向けて
 - ・責任ある繊維サプライチェーンのためのデュー・デリジェンスガイダンスセミナー
 - ・第6回繊維産業技能実習事業協議会におけるフォローアップについて
- 議題5. その他

第6回（2018年12月20日）

- 議題 1. 取組状況のフォローアップ
- 議題 2. その他の技能実習に係る取組み
- 議題 3. サプライチェーンの責任に係る取組みに関する事例紹介
- 議題 4. その他

2. 輸出・輸入組合の「繊維産業における外国人技能実習の適正な実施等のための取組」への対応について

2018年6月19日、第4回繊維産業技能実習協議会において取り纏められた「取組」に関し、当組合が実施した具体的対応は以下の通り。

(1) 組合員企業に対する「取組」の周知及び協力依頼

6月22日付にて、輸出・輸入組合の会員企業に対し、書面にて「取組」を送付すると共にホームページやメール配信にて周知し、組合員企業から取引先事業者などサプライチェーンに係る企業に対しても周知依頼した。

(2) 「技能実習及び取引適正化推進分科会」の設置

「取組」で求められる対応等を検討するため、輸出・輸入組合の既存の委員会を母体とし、両組合に「技能実習及び取引適正化分科会」を設置、9月4日に第1回会合を開催。専門家による外国人技能実習制度の現状についての報告、組合員企業への技能実習に関するアンケート調査内容の検討の後、回収、取り纏めを行った。また、同分科会において、取引適正化を目的に策定された「自主行動計画」に関し説明すると共に、繊維産連からの要請による第2回フォローアップ調査への協力依頼した。

(3) CSRに関するセミナーの開催

①輸入・輸出両組合事業

2015年より CSR に関するセミナーをこれまで東京と大阪で計12回開催。

セミナーテーマ

- ・2015年（東京、大阪） : 繊維と CSR
- ・2015年（東京、大阪） : CSR 調達基礎編（勉強会）
- ・2016年（東京） : アセアンの繊維産業と CSR 調達（TPP に向けて、アセアン諸国の労働問題）
- ・2016年（東京、大阪） : 英国現代奴隷法と外国人技能実習制度
- ・2017年（東京） : 繊維と CSR（企業の社会的責任）

- ・2018年（東京、大阪）：サステナビリティの潮流
- ・2018年（東京、大阪）：中国とベトナムの人材市場と対日外国人実習生送出しの実態

②組合員企業の支援

組合員企業が海外で実施している「CSR サプライチェーンセミナー」を支援するとともに、現地の組合員企業へのセミナー参加を促した。

- ・2016年 8月、ベトナム・ホーチミン
- ・2017年 8月、ベトナム・ホーチミン
11月、ミャンマー・ヤンゴン
- ・2018年 8月、ベトナム・ホーチミン
10月、中国・上海

セミナー対象者は、組合員企業、取引先の繊維工場、物流会社等。専門家による CSR 関係の説明の他、各国の労働省、ILO、アジアファウンデーション、国際移住機関などから講師を招きセミナーを実施。

③「（一社）ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステナブル・サプライチェーン（ASSC 通称アスク）」が運営するラウンドテーブルへの参加

企業は、サプライチェーン全体で、人権に対するマイナスの影響の特定、防止、軽減することが求められており、外国人労働問題の解決に向けた具体的な取り組みが不可欠となっている中で、外国人労働者（技能実習制度を含む）の労働・人権の問題に関し、企業や関係団体・当局等の協議の場として ASSC（アスク）が設置した「外国人労働者協議会（ラウンドテーブル）」へ、組合分科会委員長及び事務局は、日本企業のサプライチェーン上での外国人労働問題に関する課題等の知識向上を目的とし参加している。

（4）取引適正化の推進

繊維産業流通構造改革推進協議会は、繊維産業のビジネスモデルの変化に伴い、「歩引き」取引の禁止や、発注企業は自社に至るまでのサプライチェーン全体における法令遵守、適正な取引条件や労働環境等の確保について社会的責任を有する等を記載した内容の「取引ガイドライン第三版」を策定した。

輸出・輸入両組合は、繊維産業流通構造改革推進協議会の法令遵守等のフォローアップ調査に協力するとともに、「取引ガイドライン第三版」を組合員企業へ配送し、組合員企業に

におけるサプライチェーン全体を通じた取引適正化の取組状況や外国人技能実習の法令遵守状況等について周知徹底を図り、必要に応じ、両組合に設置した「技能実習及び取引適正化推進分科会」が中心となって組合員企業への適切な支援等を検討するため「サプライチェーン上における外国人技能実習に関するアンケート」を再度実施した。

IX. 関係当局への対応

1. 経済産業省関連事項について

- (1) 平成 31 年度関税改正要望に関し、繊維品における中国・タイ特惠関税全面卒業についての意見具申
- (2) バングラデシュ税関による衣料品の無償提供原材料への輸入未許可に関する情報共有と改善要望
- (3) 経済連携協定や自由貿易協定を利用・適用する組合員企業との意見交換
- (4) 日アセアン経済連携協定における「累積の証明」に関する改善要望
- (5) 欧州路線における貨物専用航空機運航停止による影響について情報提供
- (6) 台風による関西空港閉鎖及び大阪・神戸港の影響について情報共有
- (7) 台風による成田、羽田及び中部国際空港への影響について情報共有
- (8) 米国の対中国制裁関税に関する情報共有
- (9) TPP11 やアセアン各国との経済連携協定において、第 61 類～63 類の衣類における「関税分類を決定する構成部分」の解釈に関する改善要望
- (10) 日タイ経済連携協定におけるタイ原産地証明書発給機関の問題提起と宣誓書適用による簡素化要望
- (11) 東京港コンテナヤード混雑の現状報告と改善要望
- (12) 日 EU 経済連携協定に関し（各説明会実施前後の質問に対する回答）について意見交換
- (13) 日 EU 経済連携協定発効に伴う協定内容や自己認証制度等手続きに関する疑問・問題点等の明確化
- (14) 経済産業省による「最近の EPA 交渉」に関する説明

2. 財務省関連事項について

財務省関税局より衣類・繊維製品の輸入に関するヒアリングが行われた

- (1) 過去の輸出額・輸入数量の動向、及びその背景事情
- (2) 平成 30 年度・平成 31 年度の輸出額・輸入数量の見通し
- (3) 国内市場の動向及び今後の見通し

- (4) 海外における生産の動向及び今後の見通し
- (5) 日本の繊維産業

3. 東京都関連事項について

東京オリンピック・パラリンピックにおける東京都の物流対策について東京都港湾局との意見交換が行われた

- (1) 国内物流関連事項について

X. 国内関係諸団体

当組合は、国内関係諸団体の会員、協力団体として、その事業遂行に積極的に協力した。当組合が加入している国内関係諸団体は以下のとおりである。

日本繊維産業連盟、日本貿易会、日本貿易振興機構、日本関税協会、繊維産業流通構造改革推進協議会（繊維ファッション SCM 推進協議会）、日中経済貿易センター、対日貿易投資交流促進協会

XI. CSR について

新興国への事業展開が進む中、自社工場やサプライチェーンにおける労働問題（児童労働、強制労働、低賃金、劣悪な労働環境等）が、経営上のリスクとして大きくクローズアップされている。

労働問題への対応が不適切な場合、企業のブランドイメージの低下や、それに伴う売上の減少、そして労働ストライキや訴訟へと発展し、企業の責任が厳しく問われることになる。

このことから 2015 年度より、日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合・一般社団法人テキスタイル倶楽部共催で、組合員への情報発信、情報交換を目的に、CSR セミナー・勉強会を開催している。

また 2017 年 3 月より、経済産業省製造産業局長主宰の繊維産業技能実習協議会への参加に伴い、組合内に「技能実習及び取引適正化推進分科会」を設置し、繊維産業において多く指摘されている外国人技能実習生に関する法令違反問題について、改善に取り組んでいる。（第五-V・第六-VIII）

〈主催セミナー〉

- (1) 「サステナビリティの潮流」セミナー（東京）

開催日：2018年10月5日（金）
開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部・会議室
講師：一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・
サプライチェーン 理事 和田 征樹 氏 理事 森 翔人 氏

(2)「サステナビリティの潮流」セミナー（大阪）

開催日：2018年10月12日（金）
開催場所：輸出繊維会館
講師：一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・
サプライチェーン 理事 和田 征樹 氏 理事 森 翔人 氏

(3)「中国とベトナムの人材市場と対日外国人実習生送り出しの実態等」セミナー（大阪）

開催日：2018年11月30日（金）
開催場所：輸出繊維会館
講師：Selege 代表取締役
中智上海経済技術合作有限公司（大阪支店） 最高顧問 菅野 直純 氏

(4)「中国とベトナムの人材市場と対日外国人実習生送り出しの実態等」セミナー（東京）

開催日：2018年12月6日（木）
開催場所：日本繊維輸入組合 東京本部・会議室
講師：Selege 代表取締役
中智上海経済技術合作有限公司（大阪支店） 最高顧問 菅野 直純 氏

〈協賛セミナー〉

第1回CSRサプライチェーンセミナー（中国）

開催日：2018年10月26日（金）
開催場所：上海市 古北湾大酒店
主催：帝人フロンティア株式会社・帝人商事（上海）有限公司
株式会社エナジェティック グリーン・
協賛：日本繊維輸入組合・日本繊維輸出組合・一般社団法人テキスタイル倶楽部
内容：①「帝人フロンティアのCSR調達の方針、取組」
帝人フロンティア株式会社 岡本 真人 氏
②「CSRの潮流（労務面を中心に）」
株式会社エナジェティック グリーン 和田 征樹 氏
③「中国環境保護法に関する改正及び直近の実施状況について」
杭州市環境保護局 佟 強 氏
④「南通帝人の環境・安全への取り組みの歴史・現状と今後の方向性」
南通帝人有限公司 三森 啓章 氏

第七 業務関係

I. 輸出繊維品の原産地証明書発給状況

当組合は、繊維品輸出に係る原産地証明書の発給業務を行っており、2018年1～12月に発給した証明書の件数は下記の通りであった。

2018年1～12月 原産地証明書発給件数

		件数	前年比
大阪本部	組合員	2,093	86
	非組合員	269	100
東京支部	組合員	239	81
	非組合員	31	84
合計	組合員	2,332	86
	非組合員	300	98
総合計		2,632	87

II. 広報、諸統計、その他

1. ホームページでの広報等による情報提供

現在まで作成してきた各種貿易統計をタイムリーに活用できるサービス体制の強化を目指すとともに、効率的な業務運営並びに経費節減の観点から、2002年8月にホームページを開設した。更に、2005年4月より、当組合の繊維品輸出統計（「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、
「化合繊維・綿の輸出動向」、
「織・編物（絹・化合繊維・綿・毛）輸出動向」、
「主要繊維二次製品輸出動向」）の配付を取り止め、ホームページに掲載することにした。

また、各種案内、制度変更の通知、各種報告書、各種統計等を掲載したほか、重要または緊急性のある情報を迅速に掲載する等組合員への情報サービスの強化を図るとともに HP の利用推進を図った。

URL <http://www.jtea.or.jp> （なお、当組合のEメール・アドレスは info@jtea.or.jp）

2. 諸統計の作成

(1) 通関情報処理システム（CCIS）

①下記の CCIS データ項目の内容で、組合員の貿易データの電算処理を行った。

輸入：Ⅰ・Ⅱタイプ共通；荷主 REF. No.、荷主セクションコード、申告税関コード、申告番号、輸入者コード、貨物個数、許可年月日、インボイス価格、通関金額、品目コード（HSコード）、数量 1（第 1 数量、単位）、数量 2（第 2 数量、単位）、原産地国名等
Ⅱタイプ；大額、小額表示、インボイス条件、インボイス通貨、評価申告区分、内国消費税、納税支払区分、延納許可区分、担保額、関税率区分、関税減免税適用条項等
輸出：荷主 REF. No.、荷主セクションコード、申告税関コード、申告番号、輸出者コード、仕向け地、許可年月日、インボイス価格、FOB 価格、品目コード（HSコード）、数量 1（第 1 数量、単位）、数量 2（第 2 数量、単位）、原産地国名、無為替等

② これらのデータを基に作成した、各組合員の自社に関する輸出入の諸統計情報及び CCIS の原データを、組合のホームページからダウンロードして閲覧することができるサービスを 2018 年度も継続して実施した。

(2) 輸出貿易統計

日本の繊維品輸出貿易について、財務省ホームページ等から日本の繊維品輸出通関実績を入手し、「TEXTILE EXPORTS OF JAPAN」、主要品目統計（化合製品輸出状況など）などの月表を毎月作成して組合ホームページに掲載した。

3. 登記・届出関係

- ① 2018. 6. 11 2017 年度（平成 29 年度）事業報告書等の承認届（経済産業大臣）
- ② 2018. 6. 11 役員に関する変更届（経済産業大臣）
- ③ 2018. 8. 6 代表理事変更登記